



平成 17 年 1 月 18 日 (火)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

年頭の御挨拶

平成 17 年 1 月 20 日をもって、当バイオマスプロジェクトチームは 2 周年を迎えます。これからも「バイオマス立県ちば」の推進に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

1. 事業の進捗状況

○ 木質バイオマス利活用実用化促進事業



製材残材などの炭化試験施設(東金市山田)の据え付けを完了し、1月12日から本格稼働に入りました。同日、共同研究会議を開催し、炭化試験施設の見学会を実施した後、新用途開発に向けた意見交換会を行いました。

今までの炭化データ結果では、比表面積 $400 \text{ m}^2/\text{g}$ 程度で、一部に活性炭レベルの性能を有する炭の生産も確認できました。今後は安定的な炭の生産の確立に向けた条件把握と新用途開発に向けた共同研究を進めていくこととしています。

○ 山田町での農林水産バイオリサイクル研究

バイオマス多段階利用プラント群のメタン発酵プラント、メタン燃料化設備、メタン発酵消化液再資源化設備等の各種プラントの基礎工事が進んでいます。

メタン発酵槽基礎工事



○ バイオマスプラスチック導入実証支援事業



12月より開始した卵パックを利用した一般消費者への普及啓発事業について、イオン担当者からは、関東各店舗での卵パックの売れ行きが好調と聞いています。同程度の価格ならば、従来のプラスチック製パック入りの卵でなく、バイオプラスチック製パック入りの卵を選ぶ人々が多いようです。

2 . 国・大学等との連携

(独)産業技術総合研究所が実施する「地域 LCA(ライフサイクルアセスメント)の検討」
1月20日(木)に、(独)産業技術研究所が地域 LCA についての中間報告会を議
会棟第3会議室で実施します。

3 . 普及啓発活動・その他

○ 里山フォーラム in ちば に出展

1月23日(日)に市原市民会館で開催される「里山フォーラム」に出展し、バイオ
マス関連製品等を展示します。来場者にバイオマスの利用が身近なものであることを
紹介します。

○ 千葉県環境教育研究会に参加

1月30日(日)に千葉県中央博物館で開催される「千葉県環境教育研究会」に参加す
る予定です。環境教育に関する実践事例の報告や役に立つ情報交換、新しい環境教育
の方法を紹介しあうことを目的とする会であり、バイオマス分野での協力を図ります。

○ 企業相談・視察など

・食品残さの飼料、堆肥化等について企業からの相談を受けました。

新技術の紹介

(亜臨界水のバイオマス技術への応用)

亜臨界水とは、水の高圧/高温下で超臨界水といわれる 220 気圧 374 度より若干低い条件
での水の状態をいいます。この状態では物質を溶解する力が極めて強くなり、水やその他
の流体での亜臨界状態を利用した有機物の分解の利用が始まっています。

麦芽の加工、木材分解を用いた芳香族化合物の生成、下水汚泥の処理など、バイオマス
の様々な分野での研究が進められています。

東京大学、大阪府立大学、熊本大学等で企業体と連携した研究が進められるなど、亜臨
界水利用は、これからのバイオマス利活用に向けた新しい技術として期待されています。